

令和7年度 地域支援・地域活動協議会の支援・取組事例

区名	西成区
----	-----

地域活動協議会の自律に向けたまちづくりセンター等の取組
「取組状態・自律度の状況把握シート」の基本項目で令和6年度期末と比較して向上し、OAとなったものについて、各区が各地域活動協議会の自律を進めるための支援として、まちづくりセンター等の取組により自律につながった事例。
・地域支援アドバイザーが地域活動協議会の担当者に対し、会計帳簿の作成・管理を支援した。その結果、毎月、帳簿と通帳残高を照合する運用が定着した。現在は帳簿が適切に整備され、地域活動協議会が主体的に運営できている。 ・地域活動協議会の担当者が議事録の作成は行っていたものの、これまでは閲覧環境が未整備で、地域支援アドバイザーの支援を要していた。現在は、地域活動協議会が自主的に閲覧環境を整備し、活動拠点で議事録をいつでも確認できる体制が整った。

まちづくりセンター等による新たな取組事例
上記のほか、令和7年度に新たに実施したまちづくりセンター等による取組。
・新規事業導入を検討している地域に対し、地域支援アドバイザーが「誰もが参加して歌える」事業を紹介した。その結果、当該地域では本事業を「思い出教室」として導入し、参加者が配布された歌詞カードを見ながら歌唱している。これにより、口腔機能および記憶機能の維持・向上（リハビリ）につなげている。

実施主体に関わらず他区・他地域に共有できる好事例
区役所、まちづくりセンター、地域等の実施主体に関わらず、上記項目以外で他区・他地域に共有できる支援や取組。
・社会福祉協議会が区のポッチャ大会を開催するようになり、区内の地域活動協議会同士が合同で練習を行うなど地域間の交流が深まった。